



シリーズ 言語文化教育研究会

「言語教育とアイデンティティ形成—日本語・国語・外国語の連携と再編」

2010年 第2回

7月16日(金) 17:00~19:00

話題提供者:

クレア・マリイ氏 (津田塾大学)

タイトル:

「《わたし》に何が語られるのか

——ことばの学びにおける複合アイデンティティ」

場所: 早稲田大学早稲田キャンパス 22号館 8階会議室

アイデンティティとは簡単にいうならば、「《わたし》の」としての《わたし》ならびに「《他者》」にとっての《わたし》なのだ。双方の《わたし》は調和をし、ときには対立をしながら、「他者」との間に立ち現われるのだ。ここで登場する《わたし》とは実践的で、複合的である。

ことばの学びという実践においては、《わたし》と《わたし》が出会い、互いに語りあい、学びあうのだ。複合的である「わたしたち」はお互い交渉しながら対話をしていくのだ。今回は、ことばの学びに登場する《わたし》という視点を考えていきたい。特に、他者とのネゴシエーションを念頭におきながら日本語話者の複合アイデンティティを考慮した言語教育実践を検討したい。多文化共生という概念に批判的な眼差しを向け、支援する／支援されるという対立的な関係を援助しないことばの学びの可能性を探る。

主催 言語文化教育研究会

代表・細川英雄 (早稲田大学大学院日本語教育研究科)

<http://www.gbki.org/>

多くのみなさまのご参加を心よりお待ちしております。

来聴歓迎、参加無料、事前登録なし